

平成29年9月24日
今週のベストショット



雁レク7 レッドサンデーズ 対 奈多サンデーズ戦

同門の奈多サンデーズ相手に3安打完封勝利を挙げたレッドサンデーズ塚本投手。

写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征

青松園A ウィンズ投打で圧倒、コールド勝利！

ブルーマーリンズ（11敗）00100 1 横山（祥）●-横山（健）

新町ウィンズ（9勝3敗）4306X 13 藤田○-今林

HR：桐島、藤田（新町ウ） 2BH：泉（新町ウ）横山（健）（ブルー）

盗塁：安藤（一）3、泉、藤田（新町ウ）

初回ブルーマーリンズは、立ち上がりコントロールが定まらない新町ウィンズ藤田投手から二者連続四球を選び無死一二塁と先制のチャンス。続く三番横山（健）選手の打球はいい当たりのライトライナー。ここで一塁ランナーが飛び出していまい痛いゲッツーとなり、後続も倒れ無得点。対するウィンズはその裏、先頭の泉選手がライトへ二塁打を放つ。二番安藤（一）選手は四球を選び無死一二塁。三番今林選手はセンター前に適時打を放ちウィンズ先制。一死後、五番野中選手の内野ゴロが相手ミスを誘い二者生還。さらに1点を追加し4-0とする。二回裏にもウィンズは制球の定まらない横山（祥）投手からヒット1本で3点を追加し二回を終わって7-0と突き放す。何とか反撃したいブルーマーリンズは三回表、二死から一番児玉選手が絶妙なバントヒットで出塁。二番田中選手は四球を選び二死一二塁とすると三番横山（祥）選手はライトへ意地の二塁打を放ち1点を返す。ここからさらに反撃に転じたいブルーマーリンズであったが、その後はまだまだ球威が十分な藤田投手にノーヒットに抑えられた。ウィンズは四回裏に桐島選手と藤田選手のHRも飛び出すなど6点を加点し、大きくブルーマーリンズを引き離し五回コールド勝ちとなった。（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



2安打完投勝利の新町ウインズ藤田投手。



力投のブルーマーリンズ横山祥朗投手。



一回表ライトライナーを捕球するウインズ永淵右翼手。



ナイスファイト！ウインズ永淵右翼手



ファールを追うウインズ宮原三塁手と今林捕手。



一回裏先頭で二塁打を放つウインズ泉選手。



四回裏、豪快なHRを放つ藤田選手。



本日3盗塁のウインズ安藤一步樹選手



三回表、絶妙なバント安打の児玉選手。



三回表、意地のタイムリーを放つ横山健介選手。



飛球を好捕するブルーマーリンズ田中左翼手。

雁レク軟7 レッドサンデーズがシングルヒットと足でかき回し完封で勝利！

レッドサンデーズ (5勝6敗) 3 0 1 2 2 0 8 塚本〇ー八島

奈多サンデーズ (3勝6敗1分) 0 0 0 0 0 0 0 砂場●ー野々下

盗塁：川原2、近藤3、土田、前田、吉岐 (レッド)

レッドサンデーズは初回、相手失策からすかさず近藤選手の盗塁でチャンスを作り、この回まだ調子の上がない奈多サンデーズ砂場投手から2本のヒットで3点を先取。奈多サンデーズも初回は、四球と右前安打で無死一二塁とチャンスを掴み得点を狙うが後続が断たれ無得点。三回表にレッドサンデーズが六番前田選手のタイムリーで1点。更に四、五回にもスチールでかき回し2点ずつ加点して合計8点を奪った。この試合は珍しく両チーム全てシングルヒット。相手失策に8盗塁と足でかき回し、守りでは塚本投手が3安打完封したレッドサンデーズに軍配が上がった。また、幾度となく好守備を見せてくれた奈多サンデーズのショートストップ宮口選手と、失策あり、華麗なグラブトスあり、巧みな打球でライトゴロアウトの笑いありと何度も盛り上げてくれたレッドサンデーズ セカンドベースマン田村選手が特に印象深かった。(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里 一征)



3安打無失点の好投レッドサンデーズ塚本投手。



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



軽快な守備を幾度も見せた奈多サンデーズ宮口遊撃手。



一回表、適時ポテンヒットで出塁するレッド吉岐選手。



二回裏、センター前ヒットの奈多サンデーズ砂場選手。



三回表、怪我から復帰して適時打を放ったレッド前田選手。



三回表、すかさずスチールを陥れるレッド前田選手。



三回表、セカンドゴロを軽快にさばいたサンデーズ田中選手。



三回裏、センターへ弾き返すサンデーズ江口選手。



三回裏、華麗なグラブトスを見せたレッド田村二塁手。



四回表、田村選手が巧みな打球を放つがライトゴロに！！



2安打2盗塁で活躍したレッド一番川原選手。



四回表、レフト前ヒットを放つレッド二番近藤選手。



五回表、見事なバントでピッチャーの失策を誘った梅野選手。

青松園B 落ち着いた試合運びで奈多クラブが勝利！

奈多クラブ (12勝) 10340 8 今林(瑠)○—安河内

奈多フェニックス (5勝6敗) 01202 5 今林(勇)●—実延(新)

HR：今林(瑠) (奈多ク) 今林(勇)、西藤 (奈多フ) 3BH：吉田 (奈多ク)

2BH：今林(瑠)、馬場 (奈多ク) 高原 (奈多フ) 盗塁：実延(新) (フ)

奈多ダービーの一戦は、奈多クラブ今林(瑠)投手、奈多フェニックス今林(勇)投手の先発で始まった。一回表奈多クラブは二番今林(賢)選手が死球で出塁すると三番今林(瑠)選手がレフト前ヒットを放ち一死二三塁とする。そして四番馬場口選手の内野ゴロの間に三塁ランナーが返り1点を先制。その裏フェニックスは一番高原選手が二塁打で出塁。バントで一死三塁とし、こちらも内野ゴロで高原選手が本塁を狙うがタッチアウト！同点とできなかった。しかし二回裏フェニックスは、西藤選手、実延選手が相手エラー、四球で出塁すると今林(英)選手が確実にバントで送り一死二三塁とチャンスとなる。ここで今林(瑠)投手の七番実延(彰)への投球が捕手のミットから前に転び、これを見逃さず西藤選手が本塁に返り同点とする。同点とされた奈多クラブは三回表、一死から今林(祐)選手、今林(瑠)のヒット、四球もあって一死満塁とする。ここで四番馬場口選手が右中間を破る走者一掃の三塁打を放ち、3点を追加する。追いつきたいフェニックスは、その裏、二番福島選手がレフト前ヒットで出塁すると、今林(勇)選手が今林(瑠)投手の球を鋭くライト横にライナーで弾き返す！奈多クラブのライト今林(賢)選手が横っ飛びで飛びつくもボールは抜けて2ランHRとなり、2点を返す。四回裏奈多クラブは、一死から九番吉田選手が粘ったあとにレフト線への三塁打を放ち、内野ゴロの間に本塁に返り1点を追加。更に今林(賢)選手が内野安打で出塁すると、今林(瑠)選手が、この日猛打賞となるセンターの左を超える2ランHRを

放つ。その後も安河内選手のヒット、住田選手の綺麗なライト前タイムリーと打線がつながり、この回4点を追加する。このままでは終わりにたくないフェニックスは意地を見せる。五回裏、二死から今林(勇)選手が内野安打で出塁すると四番西藤選手が左中間を破る2ランHRを放ち2点を追加する！しかしあとが続かずゲームセット。奈多クラブ今林(辰)監督は四回の二死からの攻撃が良かった、フェニックス今林(孝)監督は打線がつながらなかったとのことだった。1点差でも動じず四回二死から打線がつながって得点を重ねた奈多クラブは素晴らしかった。(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)



フェニックス先発の今林勇太投手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



一回裏、二塁打を放つフェニックス高原選手。



三回表、走者一掃三塁打！奈多クラブ馬場口選手。



三回裏、鋭いライナーでHRフェニックス今林勇太選手。



四回表、粘って三塁打！奈多クラブ吉田選手。



四回表、スライディングで本塁に戻る奈多クラブ今林瑠生選手。



四回表、センター前ヒットの奈多クラブ安河内選手。



四回裏、二盗し、球がそれる間に三塁まで進んだフェニックス実延新伍選手。



五回裏、2ランHRを放つフェニックス西藤選手。

奈多グラウンド ライナーズ2HR含む大量8得点で勝利！

新町パイレーツ (4勝8敗) 0 0 1 4 5 吉田●-大濱

雁の巣ライナーズ (6勝5敗) 3 2 3 × 8 有馬○-明瀬 (航)

HR: 明瀬 (旭)、中口 (雁の巣) 2 BH: 宇野 (雁の巣)

雁の巣ライナーズは初回の守備を無失点で抑えるとその裏、ランナー一塁から中口選手、宇野選手が四球を選ぶと、二死満塁として明瀬 航選手のタイムリー内野安打などで3点を先制する。すぐに取り返したい新町パイレーツは二回表、二死ながら一二塁のチャンスを作るも得点に結び付けられない。その裏、ライナーズ中口選手のヒット性の当たりが奈多グラウンドの広い左中間へ飛び結果的に2ランHRとなり2点を追加する。二回時点で5点を許したパイレーツ打線も三回には1点を返し、最終回の攻撃へリズムが作れたかと思われたが、その裏、ライナーズ明瀬 旭選手の右中間スタンドに飛び込む特大3ランで8点目を許してしまう。最終回のパイレーツは、大野選手、田中選手が出塁すると、長倉選手、八坂選手をタイムリーなどで4点を返すも、その後はライナーズ有馬投手に抑えられゲームセット。ライナーズは大量8得点で勝利。一方パイレーツは5得点もライナーズに追いつくことはできなかった。しかしながら、最終回には、代打で登場した田中選手が味方のタイムリーでホームへ帰る途中に足が絡まり転けるという珍プレーが生まれるなど、常にベンチは笑いに包まれていた。

(写真・記事:三苦三球会 船橋 史哉)



雁の巣ライナーズ先発の有馬投手。



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



パイレーツのリードオフマン長倉選手。



中口選手のHRで盛り上がるライナーズベンチ。



センターへ特大二塁打を放ったライナーズ宇野選手。



軽快にゴロをさばくライナーズ池内二塁手。



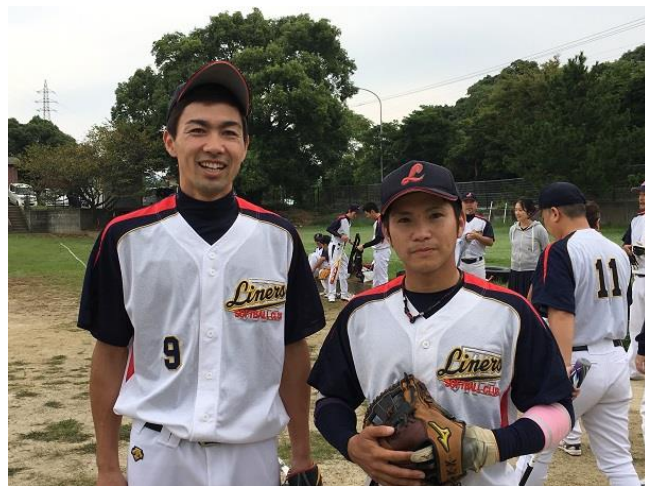
パイレーツ白岩二塁手が難しいゴロを捌くも内野安打に。



代打でチャンスメイクするパイレーツ田中選手。



その後、転びながらもなんとかホームインした田中選手。



HRを放ったライナーズ中口選手と明瀬旭選手がこの日のヒーロー！

第21週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第20週、9月24日は4試合が行われました。

青松園Aのブルーマーリンズ対新町ウインズ戦は、ウインズ藤田投手は立ち上がり連続四球も球威で押切り、徐々に力を発揮。三回に1失点はするものの、失点はこれだけ。打っては、ウインズ四番桐島選手、藤田投手のHRを含む8安打。1-13でウインズの勝利。

雁レク7のレッドサンデーズ対奈多サンデーズ戦は、同門同士の対決となったが、7安打、8盗塁に相手4失策で8得点のレッド。一方奈多サンデーズはレッド先発の塚本投手に3安打無得点に抑えられる。レッドは三、四番に当たりはなくても周囲の選手がカバーして8-0の勝利。レッド田村選手は、そのマスコットぶりを如何なく発揮した一戦だった。

青松園Bの奈多クラブ対奈多フェニックス戦は、どちらも好投手をその打撃で翻弄する試合展開。1点差で迎えた四回表、奈多クラブは5安打を集め一挙4点を挙げ、フェニックスの追い上げをかわし、8-5で無傷の12勝目を挙げた。3打数3安打1HR2打点の奈多クラブ今林瑠生選手が投打にチームを引っ張った感があるが、その前を打つ二番今林賢人選手が3打席とも出塁し、阿吽の呼吸でいいつなぎを見せたところが大きい。これも兄弟愛（強打意合い）か？

奈多グラウンドの和白新町パイレーツ対雁の巣ライナーズ戦は、三回を終わった時点で1-8とライナーズが大量7点リード。四回表にパイレーツが4点を取り意地を見せるが、如何せん序盤の失点が大きすぎた。四死球の多さがそのまま失点に繋がったこの試合は、四回表で試合終了という試合展開の遅さもパイレーツに災いする結果となった。

10月を前に奈多クラブが1試合を残して12連勝（勝ち点36）と平成13年の奈多サンデーズ（14勝0敗）以来の全勝優勝まであと1勝となった。しかし最終三苦フレンズ戦は約一か月後の10月22日。この空いた日程がどう響くか？

ちなみに2敗のフレンズの優勝の可能性は無くなった。

1敗のホーネッツは残り3試合。1つでも負けると10月22日を待たずして優勝が決まる可能性がある。

10月1日はそのホーネッツ対レッド戦の審判が奈多クラブ。

いよいよ佳境に迫った2017年度のWSL。最後まで全カプレーで盛り上げて、納会で大勢参加で振り返りたいですね。